

福岡県議会議員（宗像市選出）

伊豆みさこ

いずみさこ NEWS

県政報告書



平成30年 新春号



もうひと頑張り！

編集・発行：伊豆みさこ事務所
〒811-3436 福岡県宗像市東郷 5-5-1 (宗像市役所前)
TEL：0940-36-9375 FAX：0940-36-9376



完成が待たれる主要地方道・県道直方宗像線（猿田峠工区）道路改良工事。急カーブの改善、歩道と右折レーンの設置工事。グローバルアリーナ付近の交通の円滑化に向けて着実に工事が進んでいます。

宗像市選出の県議会議員として2期目。「宗像を元気にしタイ」「県政をもっと身近に」と、みなさんの代弁者として、その声を県議会に届けてまいりました。昨年は、『**神宿る島・宗像・沖ノ島と関連遺産群**』の世界文化遺産登録決定、『**全国豊かな海づくり大会**』と歴史に残る二つの一大事業が成就した年。
『**宗像**』の名が、日本と世界に発信されました。両事業とも市民の皆様と関係機関のご努力が実を結んだもの。後世に残る資産が、二つ増えました。今回の県議会報告では、「要望が実現した事業」と「継続して要望している事業」についてご報告致します。平成三十年も引き続き、皆様から頂いた声が形になるよう、「しつこく、くどく」県政に声を届けてまいります。

●実現に向け動き出した事業

平成二十九年度下半期、大きな事業が2つ実を結びました。一つは、『**神宿る島**』宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界文化遺産決定。もう一つは、『**第三十七回全国豊かな海づくり大会**』の開催です。豊かな海づくり大会は生憎の悪天候で、鐘崎地区のイベントが中止となりましたが、天皇后両陛下の行幸啓には沿道からの歓迎の声が絶えませんでした。そんななか、歴史文化の拠点である「宗像大社・津宮」周辺、川端橋架替え工事とスポーツの拠点である「グローバルアリーナ」周辺、主要地方道・県道直方宗像線の道路整備事業が着々と進んでいます。

思い、願い、熱意が形になりました。

本路線は、直方市直方を起点とし、宗像市のJR教育大前駅付近を終点とする県道です。
女子7人制ラグビー（ロシア）、柔道（ブルガリア）の両チームは、グローバルアリーナを東京オリンピック大会のキャンプ地として使用することを決定。県内のスポーツの拠点として、同施設にますます注目が集まります。
しかしながら、現道は、歩道がない箇所や見通しの悪い区間があり、また、グローバルアリーナへ進入するための右折レーンがないため、交通混雑が発生している状況です。
主要地方道・県道直方宗像線（猿田峠工区）道路改良事業では、急カーブの改善、歩道及び右折レーンを設け、グローバルアリーナ付近の交通の円滑化を図るものです。
現在、用地買収についてはほぼ完了し、早期供用に向け工事が実施されております。早期完成に向けた整備促進を望みます。

道は街を創り、活気と賑わいを運びます

供用に向け整備促進
主要地方道・県道直方宗像線の整備促進



「北斗の水波み公園」側入口付近



「玄海の家」側終点付近

安全と利便性が向上・大型バスも安心
県立少年自然の家「玄海の家」へのアクセス道路完成
神湊にある県立少年自然の家「玄海の家」へのアクセスは、昭和49年の開所以来、国道495号から江口区内を通る狭い道路しかありませんでした。
長年にわたる要望の結果、平成29年3月に「北斗の水波み公園」から「玄海の家」にアクセスできる道路が整備されました。これにより、大型バスは江口区を通らずに「玄海の家」を往來することができるようになり、江口区との交通安全の確保が期待できるようになりました。



安全と安心のために「川端橋」架替え工事が進行中。宗像大社、鎮国寺が位置する宗像市の歴史文化の中心地。完成後は、同地域のランドマーク的な役割が期待されます。

完成に向け工事が進む
県道玄海田島福岡線（川端橋架替え）の整備促進
本路線付近においては、世界遺産である「宗像大社」、道の駅「むなかた」及び「鎮国寺」といった観光施設が集積しています。しかしながら、本路線に架かる川端橋は建設後50年以上経過しており、現在の設計基準を満たしていないため、交通安全の信頼性が確保されていない状況でした。
本橋を架け替えることにより、交通の「安全・安心」の確保が図られるとともに、各々の観光施設の周囲の促進に寄与し、地域におけるさらなる活性化が期待されています。
現在、橋梁の架替えに必要な迂回路を設置し、旧橋が撤去され仮設橋での通行となっています。早期完成に向けた整備促進が進んでいます。